

# 漢字キャラクターの子ども向けアニメ一般公開

株式会社コトバノミカタと武庫川女子大学 文学部 日本語日本文学科 設楽ゼミが、産学連携プロジェクトとして漢字キャラクターの子ども向けアニメ「あめかちゃんとまほうのせんし」(約10分)を制作した。その一般公開が2021年4月1日から動画共有サイトYouTubeで始まる。



「あめかちゃんとまほうのせんし」  
メインビジュアル

むかって左手前が、主人公の「あめかんむりひめあめかちゃん」その右どなりの5人が、偏をモチーフにした「5つ星のせんし」キヘン君、ヒヘン君、ツチヘン君、カネヘン君、サンズイ君。モンスターにさらわれた、あめかちゃんを、5つ星のせんしが漢字のまほうで救いだすストーリー。

2020年度に小学校6年間で習う教育漢字は1026文字に増えた。しかし日本の子どもの約半数は漢字が苦手とされている。(2007年ベネッセ総合教育研究所調べ)

教材・文具の企画開発などを手がける株式会社コトバノミカタ(宝塚市 代表取締役 本下瑞穂)と武庫川女子大学 文学部 日本語日本文学科 設楽ゼミ(西宮市)は、新しい生活様式に合致する小学生向けの学習教材として、漢字の部首がキャラクターにして活躍するアニメーションを制作した(2020年12月完成)。

コトバノミカタが原案、キャラクター、シナリオ原案を準備。学生が、ゼミ教員 設楽馨准教授の指導のもと動画のシナリオを制作。また、ボイストレーニング(2020年9月22日)を受講した上で、各キャラクターの声優とナレーション(9月26日学内にて音声収録)を担当した。

コロナ禍のため、打ち合わせ等はオンライン会議システムを使用し、感染症対策を徹底した。発声を伴う活動には、最新の情報を集めるとともに、換気や消毒等、万全の対策を講じた。

2020年12月～2021年1月に、保護者コミュニティである「転勤族ママ&キッズ探検隊 in 西宮」の協力を得て、33組の子どもの保護者に限定公開を行い、学生がアンケートの集計と分析。

可愛い容姿、方言による個性を演出した漢字キャラクターのアニメは、視聴した子ども達に高評価だった。保護者も、子どもの学習機会が楽しく豊かに提供されることに好意的であることが確かめられた。

漢字の部首には「あめかんむり」「くさかんむり」など自然に関連したものが多くある。身の回りの漢字を学ぶことで水や緑が豊かな土地で古代文明が栄えた歴史学習や、SDGsの「自然と共に生きる世界観の醸成」にも寄与すると考えている。

コトバノミカタの本下は「新一年生を中心に、ぜひ多くの子ども達にアニメを視聴いただき、漢字に親しみを持ってほしい。コロナ禍でもITを活用したクリエイティブな産学連携の可能性を知ってほしい」と話す。

漢字キャラクターあめかちゃんサイト(4月1日より動画リンク公開):  
<https://amekachan.jp>

武庫川女子大学 文学部 日本語日本文学科 設楽ゼミ:  
<https://jll.mukogawa-u.ac.jp/navi-category/seminarblog/shitara-semi/>

連絡先:  
株式会社コトバノミカタ 代表取締役 本下瑞穂(ほんげみずほ)  
住所: 〒665-0003 兵庫県宝塚市湯本町2-20-103 BASE 宝塚内  
URL: <https://kotobanomikata.jp>

メール: [mizuho@manabinomikata.sakura.ne.jp](mailto:mizuho@manabinomikata.sakura.ne.jp)

アニメ限定公開 YouTube QR コード



<https://www.youtube.com/watch?v=JrEgtej80dM&t=9s>